

③ 地域展開ビジョン2030の推進

「地域展開ビジョン2030」は、知的成果の社会還元というミッションの実現に向けて、岐阜大学が10年後を見据えて今後取り組んでいく研究・産学官連携の基本方針を示したもので、全学のリソースを結集して研究グループを結成し、そのサポートとリサーチマネジメントを行います。「地域創生プロジェクト※1」として、既に21個の研究グループが形成されていますが、今回

さらに、民間企業等からの共同研究費等の資金の獲得を推進しイノベーションの創出に必要な財源の確保を進めるため、社会実装や民間企業の参画の促進が期待される研究に対して、費用的な支援を行いました。

※1 地域創生プロジェクトに関しては、G-NICE Vol.73 2020年9月号に掲載しています。

① 民間企業との共同研究等につなげる研究に対する支援

民間企業との共同研究費等の資金獲得を目的として、特に若手研究者を対象に、研究のブラッシュアップを図るため、下記の13課題に対して費用的な支援を行いました。

※2	題 目	氏 名	役 職	部 局
1	食物アレルギー対応と健康を包含した揚げ物調理における生おからの有効利用と調理シミュレーションツールの開発	柴田 奈緒美	助教	教育学部
2	眼振画像計測システムの構築と眼振画像からめまい患者の診断を支援するソフトウェア開発	青木 光広	准教授	医学系研究科
3	口腔内微生物叢構成を改善する唾液腺電気刺激装置の開発	安部 力	准教授	医学系研究科
4	鍛造部品工場のAIoT化に関する研究	佐藤 惇哉	助教	工学部
5	健康素材原料の開発と肺炎疾患予防健康食品の商品化	濱本 明恵	助教	工学部
6	次世代通信を支える光通信コネクタのEMI設計に関する研究	伊藤 大輔	助教	工学部
7	吊形式橋梁ケーブルの健全度評価手法の高度化	宮地 一裕	助教	工学部
8	免疫細胞を活性化する食品由来成分の探索	山内 恒生	助教	応用生物科学部
9	東海地方における食用昆虫のブランド化に有用な食品残渣の探索	今泉 鉄平	助教	応用生物科学部
10	黄化葉巻ウイルスを媒介するタバココナジラミ忌避化合物の探索	岡本 朋子	助教	応用生物科学部
11	バラの病害抵抗性台木の開発	落合 正樹	助教	応用生物科学部
12	がん特異的代謝メカニズムを阻害する新規抗腫瘍薬の開発	平島 一輝	特任助教	連合創薬 医療情報研究科
13	高病原性コロナウイルス治療薬開発のための分子ツールの創出	田中 秀則	助教	生命の鎖 統合研究センター

※2 26件の申請の中から13テーマを採択し、研究費等の支援を行いました。

② 民間企業との共同研究等に対する支援

課題数	支援金額	研究者の役職			研究者の所属
		教授	准教授	助教	
10テーマ※3	45,000千円	3	4	3	医学系研究科 工学部 応用生物科学部

※3 29件の申請の中から10テーマを採択しました。

③ 民間企業との大型共同研究等に対する支援

課題数	支援金額	研究者の役職			研究者の所属
		教授	准教授	助教	
5テーマ※4	62,600千円	4	1	0	医学系研究科 工学部 応用生物科学部 連合農学研究科

※4 16件の申請の中から5テーマを採択しました。